

2 環境の現状と課題

(1) 生活環境・景観

臭い・水・音は生活環境に直接的に影響することから、特に市民からの関心が高い項目であり、毎年のように苦情・相談が寄せられています。そのため、加西市の大気、河川・ため池の水質及び道路騒音の一般的な状況について、経年変化を記録し、監視しています。観測・測定結果は概ね環境基準をクリアしており、良好な生活環境が保たれていると言えます。全ての市民がこの良好な生活環境を享受できるよう、事業者への指導、基準見直しなど継続的な取組が必要です。

また、加西市は、落葉樹の里山やため池と農地からなる田園風景が四季折々の表情を魅せる美しい自然・農村景観を有しています。この景観を将来にわたって保全できるよう、ごみのポイ捨てや空き地空き家の増加による景観悪化の防止、歴史的景観の維持の両立など継続的な取組が必要です。

■生活環境・景観の現状

①公害苦情・相談

加西市に寄せられた公害苦情・相談の分類ごとの件数をまとめています。特に「水質の汚濁」「騒音」「悪臭」に関する件数が多くなっています。

【公害苦情・相談の状況】

分類	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
大気の汚染	1	1	2	0	3	3	2	1	2	0
水質の汚濁	8	9	20	15	18	7	4	8	10	10
土壌の汚染	0	0	0	2	0	6	4	1	0	0
騒音	7	8	9	17	14	9	7	4	12	5
振動	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0
地盤の沈下	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
悪臭	7	6	8	10	5	10	3	4	6	2

環境課資料より

②大気

主要5項目の大気汚染物質について、兵庫県移動観測車による一般大気測定を平成24年度まで実施してきました。また、平成28年度からは、主要2項目の大気汚染物質について、加西市移動観測車による一般大気測定を実施しています。概ね良好な測定結果となっています。また、市民アンケート結果においても大気に係る満足度が高くなっている傾向にあります。

【市民アンケート結果】

◎「空気のきれいさ」が「満足」「やや満足」と答えた市民の割合

74.7% (H15) ↗ 89.3% (H28)

◎「自動車への排ガス、騒音、振動」に関心があると答えた市民の割合

17.2% (H15) ↘ 11.7% (H28)

※環境が改善したことにより関心度が下がったと考えられます。

【大気環境測定結果（兵庫県移動観測車）】

物質	単位	基準値 (測定箇所)	H18 (田原町)	H19 (北条町)	H20 (鎮岩町)	H21 (和泉町)	H22 (網引町)	H23 (上宮木町)	H24 (東野田町)
二酸化硫黄 (SO ₂)	ppm	0.04 以下	0.002	欠測	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001
二酸化窒素 (NO ₂)	ppm	0.04 -0.06	0.014	0.016	0.009	0.008	0.016	0.011	0.01
光化学オキシ ダント(Ox)	ppm	-	0.019	0.016	0.022	0.024	0.015	0.021	0.023
非メタン炭化 水素(NMHC)	ppmC	0.20 -0.31	0.16	0.24	0.13	0.07	0.15	0.14	0.13
浮遊粒子状 物質(SPM)	mg/m ³	0.10 以下	0.027	欠測	0.012	0.013	0.009	0.009	0.015

※数値は1時間値の1日平均値 兵庫県移動観測車による測定結果より
※基準値超はなし

【大気環境測定結果（加西市移動観測車）】

物質	単位	基準値 (測定箇所)	H28 (北条町)	H29 (北条町)	H30 (北条町)	R1 (北条町)	R2 (北条町)
二酸化窒素 (NO ₂)	ppm	0.04 -0.06	0.016	0.011	0.006	0.005	0.015
浮遊粒子状 物質(SPM)	mg/m ³	0.10 以下	0.013	0.011	0.010	0.006	0.037

※数値は1時間値の1日平均値 環境課資料より
※基準値超はなし

【用語解説】

・二酸化硫黄 (SO₂)

主として工場・事業所のエネルギー源となる化石燃料(特に重油)や原料中に含まれている硫黄分が燃焼する際に生成し、喘息などの呼吸器系疾患の原因になるとされており、酸性雨の原因物質でもあります。

・二酸化窒素 (NO₂)

主として自動車や工場のボイラーなどの燃料が高温で燃焼することにより、燃料中の窒素と空気中の酸素が反応して発生します。人の健康に影響を与えるだけではなく、光化学スモッグの原因物質ともなります。発生源は、工場などの燃焼施設のほか自動車、ビルや家庭の暖房機器など広範囲にわたっています。

・光化学オキシダント (Ox)

自動車排気ガスや工場のばい煙などに含まれる窒素酸化物や炭化水素が、太陽の紫外線の作用で光化学反応を起こし、生ずる酸化物質の総称で、光化学スモッグの原因物質となります。光化学スモッグが発生すると、目やのどに刺激を感じたり、農作物に被害を与えることもあります。

・非メタン炭化水素 (NMHC)

大気中に存在するメタン以外の炭化水素を表します。非メタン炭化水素は、光化学スモッグの原因となり、発生源としては、自動車、塗装・印刷工場が挙げられます。

・浮遊粒子状物質 (SPM)

大気中に浮遊している粒径 10 マイクロメートル(1 マイクロメートル=1/1000mm)以下の物質で、大気中に長時間滞留し、気道又は肺胞に沈着し、呼吸器系統に影響を及ぼします。また、粒径が 2.5 マイクロメートル以下のさらに小さい物質は PM2.5 と呼ばれており、通常の SPM よりも肺の奥まで入り込むため、ぜん息や気管支炎を起こす確率が高いとされています。

③水環境

水質は農業用水に関わることなので加西市では苦情・相談が多い分野ですが、市民アンケート結果では満足度が高くなっている傾向にあります。河川・ため池の定期定点の水質調査でも概ね環境基準を満たしており、下水処理施設が整備されたことによる水質改善の効果が現れていると考えられます。

一方で、子どもアンケートでは、「河川やため池の水が汚れている。」という回答が多く寄せられました。水質だけでなく、見た目・清潔感についても水環境を評価する重要な指標として、対策を講じていく必要があります。

【市民アンケート結果】

◎「川やため池の水のきれいさ」が「満足」「やや満足」と答えた市民の割合

31.6% (H15) ↗ 46.0% (H28)

◎「川もため池も水がよごれている」と答えた児童・生徒の割合(子どもアンケート)

36.2% (小6) 34.3% (中3)

【河川水質測定結果(BOD)】

単位:mg/l

調査箇所	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
鎌崎橋 (万願寺川)	1.8	1.4	1.0	1.2	1.0	1.5	1.3	2.4	0.7	2.0
栄通橋 (万願寺川)	2.9	1.5	1.4	1.0	1.0	1.7	1.0	1.1	1.2	2.2
原橋 (万願寺川)	2.8	1.8	1.6	1.5	1.1	1.6	1.4	1.6	0.8	2.0
寿橋 (下里川)	1.7	1.9	1.7	1.8	1.8	1.5	0.5	2.2	0.7	1.1
下里橋 (下里川)	2.8	3.8	3.1	2.5	1.4	2.5	1.2	1.9	1.0	1.2
田原橋 (下里川)	2.5	2.3	2.0	2.2	1.0	2.1	1.4	2.5	1.0	1.5
溝川橋 (手前川)	2.9	1.7	2.4	1.3	2.7	2.6	0.8	2.1	1.9	2.2
老生橋 (普光寺川)	2.5	3.2	1.9	1.5	1.0	1.8	0.9	3.0	1.0	1.9
柳橋 (天川)	2.7	0.6	1.4	0.5	0.8	1.6	0.7	0.9	0.5	1.2
折戸橋 (大谷川)	2.2	2.4	2.0	2.6	1.4	2.0	1.4	3.0	1.0	2.9
賀茂橋 (賀茂川)	3.2	2.3	2.3	3.5	1.6	2.1	1.2	2.7	1.3	1.7
新村川流末(新村川)	4.5	1.7	3.5	2.0	1.9	2.5	1.9	4.2	1.4	2.1
平田橋 (下里川)	2.6	2.5	1.4	1.5	1.0	1.2	0.5	1.6	0.5	1.7
葬礼橋 (善防川)	2.8	1.3	2.2	1.9	1.0	2.3	0.5	1.2	0.9	1.4
鎮岩橋 (段下川)	4.5	1.1	1.6	1.1	1.2	1.6	0.9	1.3	0.7	1.3
手前橋 (手前川)	2.8	2.4	2.2	1.6	1.2	2.2	0.5	2.5	1.0	1.2
清水橋 (南村川)	2.8	2.0	1.9	2.1	1.4	2.1	0.8	3.9	1.4	2.2
古川橋 (普光寺川)	2.0	2.1	1.7	1.6	1.1	1.9	0.8	2.9	0.8	1.2
高橋 (万願寺川)	1.8	1.1	1.4	1.1	1.0	1.8	0.6	1.7	0.5	1.3
五領橋 (油谷川)	1.9	1.6	2.3	0.9	1.3	1.7	0.6	1.5	0.7	1.9
基準値超過地点数 ※基準値:3.0mg/l以下	3	2	2	1	0	0	0	2	0	0

環境課資料より

【用語解説】

・BOD(生物化学的酸素要求量)

水中の有機物が 20℃、5 日間で微生物により分解され、無機化されるときに消費される酸素の消費量を表し、数値が高いほど有機物による汚濁が進んでいます。河川の汚濁基準として採用されています。

【ため池水質測定結果(COD)】

単位:mg/l

調査箇所	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
大池 (畑町)	4.6	9.5	8.4	9.6	5.5	8.0	7.3	5.7	6.7	1.9
十万池 (和泉町)	4.1	5.4	6.2	5.0	3.6	3.9	5.2	7.8	22.0	2.0
古池 (網引町)	6.9	9.5	32.0	8.2	6.5	26.0	8.7	9.9	8.5	2.6
甲ヶ池 (三口町)	10.0	26.0	55.0	9.4	1.5	20.0	21.0	24.0	10.0	3.3
大柳ダム (大柳町)	8.4	9.8	11.0	9.6	8.2	11.0	9.6	9.9	10.0	1.0
旅所上池 (池上町)	6.8	9.7	11.0	7.8	6.7	11.0	9.6	10.0	23.0	3.1
東池 (岸呂町)	11.0	16.0	14.0	13.0	11.0	25.0	19.0	21.0	15.0	5.9
熊谷池 (繁昌町)	7.7	7.9	8.5	6.3	5.0	7.7	5.3	7.1	5.9	2.5
基準値超過地点数 (参考基準値:15.0mg/l以下)	0	2	2	0	0	3	2	2	2	0

環境課資料より

(ため池水質の参考基準値について)

ため池の水質については、法令上、基準が定められていません。そのため、市内の各ゴルフ場と締結している環境保全協定書に定められているため池の水質基準の値を参考基準値としています。

【用語解説】

・COD(化学的酸素要求量)

水中に有機物などの物質がどれくらい含まれるかを、酸化剤(過マンガン酸カリウムなど)の消費量を酸素の量に換算して示したもので、数値が大きいほど水中の有機物が多く、水質汚濁の程度も大きくなります。海域と湖沼の環境基準に用いられています。

【水洗化率】

92.1% (R1)

※下水処理施設(公共下水道、農業集落排水施設、コミュニティプラント施設)の整備は完了しており、河川や水路などの公共用水の水質は大きく改善しています。



コミュニティプラント施設(加西北部処理場)

④道路騒音

加西市では道路騒音に関する苦情・相談の件数はほとんどありません。平成24年度以降、騒音規制法に基づく自動車騒音の常時監視として、市内の主要幹線道路の道路騒音の測定を行っています。平成24年度に測定した際に三木穴栗線において、測定地点が交差点と近かったことから昼間の環境基準を超えています。また、平成29年度に測定した一般国道372号においても昼間・夜間ともに環境基準を超えています。また、これ以外の地点では環境基準を満たしています。

【道路騒音の発生状況】

路線名	測定地点	測定年度	等価騒音レベル dB(A)		騒音環境基準 達成状況		要請限度 達成状況	
			昼間	夜間	昼間 (70dB)	夜間 (65dB)	昼間 (75dB)	夜間 (70dB)
豊富北条線	山下町	R2	66	57	○	○	○	○
高砂北条線	三口町	R2	60	56	○	○	○	○
高岡北条線	山枝町	R2	67	62	○	○	○	○
中国自動車道	北条町栗田	R1	56	52	○	○	○	○
三木穴栗線	北条町北条	R1	65	58	○	○	○	○
中国自動車道	都染町	H30	54	51	○	○	○	○
三木穴栗線	鶉野町	H30	67	58	○	○	○	○
三木穴栗線	北条町北条	H30	63	55	○	○	○	○
多可北条線	北条町古坂	H30	65	60	○	○	○	○
一般国道372号	繁昌町	H29	71	68	×	×	○	○
三木穴栗線	桑原田町	H29	70	61	○	○	○	○
多可北条線	河内町	H29	67	59	○	○	○	○
三木穴栗線	北条町北条	H28	62	54	○	○	○	○
玉野倉谷線	玉野町	H28	68	63	○	○	○	○
豊富北条線	山下町	H27	65	57	○	○	○	○
高砂北条線	三口町	H27	61	56	○	○	○	○
高岡北条線	山枝町	H27	68	63	○	○	○	○
中国自動車道	谷町	H26	53	49	○	○	○	○
三木穴栗線	畑町	H26	70	64	○	○	○	○
中国自動車道	都染町	H25	52	50	○	○	○	○
三木穴栗線	鶉野町	H25	67	60	○	○	○	○
多可北条線	北条町古坂	H25	63	56	○	○	○	○
高砂加古川加西線	繁昌町	H25	70	65	○	○	○	○
一般国道372号線	下宮木町	H24	70	65	○	○	○	○
三木穴栗線	繁昌町	H24	72	64	×	○	○	○
多可北条線	河内町	H24	69	63	○	○	○	○

○…基準値内 ×…基準値超過

環境課資料より

【用語解説】

・等価騒音レベル

自動車のように時間とともに変動する騒音(非定常音)について、一定期間の平均的な騒音の程度を表す指標のひとつをいいます。

・要請限度

騒音規制法における基準の一つで、指定地域内における自動車騒音を低減するために、測定に基づき市町村長が道路管理者などに意見を述べ、都道府県公安委員会に対して対策を講じるよう要請することができます。

⑤悪臭

悪臭については、塗装工場で使用される有機溶剤、畜舎の家畜排せつ物、有機たい肥などを原因とする苦情・相談が多く寄せられます。しかし、最も多いのは野焼きを原因とするものです。

子どもアンケートでも、通学や外遊びの際に野焼きの煙、臭いに困っているという声が多数上がっています。子どもたちのためにも野焼きを絶対に許してはいけません。

【市民アンケート結果】

◎「野焼きによる煙害、悪臭」に関心があると答えた市民の割合

10.0% (H15) ↗ 19.4% (H28)

(子どもアンケート 自由回答意見)

「道の両方が田んぼで、そこで燃やしている人がいっぱいいて、視界が煙になって何も見えなくて目がしみてのどが痛くなったことがあります。」

「野焼きが多い。通学中、煙がものすごい多いことがあるので何とかしてほしい。」



大気汚染と悪臭の原因となる野焼き

⑥防災対策

ため池、里山の維持管理は防災・減災の重要なインフラ整備です。地球温暖化の進行に起因する気候変動の影響と考えられるゲリラ豪雨による災害も増えています。環境保全と防災対策とは密接に関連しています。

【市民アンケート結果】

◎「災害対策の充実」を行政に求める市民の割合

33.3% (H28)

◎「地震、豪雨、台風などの環境と防災」について学びたいと思う

児童・生徒の割合(子どもアンケート)

43.7% (小6) 29.6% (中3)

⑦ 景観

加西の自然・農村景観は、落葉樹の里山やため池と農地からなる田園風景が四季折々の表情を魅せる美しい景観です。この美しい自然・農村景観は、播磨国風土記が編纂された 715 年には既に成立していたであろうことが、その記述から分かります。つまり、1300 年前の加西の先人達が見た景色と今の景色はほとんど同じなのです。

市街地でも、北条地区が宿場町であった頃から、まちなみと神社仏閣が調和した歴史的な景観が今に伝わっています。市民の自主的な緑化活動でできた花壇や緑のカーテンなど、今を生きる加西の人が形成するまちなみ景観も、加西の多様な景観資源となっています。

しかし、ごみのポイ捨てや空き地空き家の増加による景観悪化、歴史的なまちなみの一部である狭あい道路の解消と歴史的景観の維持の両立という難しい課題も出てきています。



長倉池の朝景



万願寺川に映える熱気球(熱気球全日本学生選手権の様子)

● 景観資源

・ 自然・農村景観資源

粘土質段丘地形に成立した湿原や落葉樹の里山などの自然景観や農地やため池などの農村景観は、播磨国風土記の時代より維持されてきた加西の代表的な景観資源です。草刈り、清掃、あぜ焼きなど、昔から脈々と続く加西の生活文化である共同と助け合いによって、維持保全されています。



農村景観(水田)



農村景観(ため池)

・ 歴史的・文化的景観資源

播磨国風土記にゆかりのある玉丘史跡公園、北条地区の歴史的景観形成地区、姫路海軍航空隊鶉野飛行場跡地など多様な歴史文化資源に恵まれています。地域伝承された社寺や祭りなども重要な景観資源です。



玉丘史跡公園



姫路海軍航空隊鶉野飛行場跡地



北条の歴史的景観形成地区



日吉神社祭り

・緑化によるまちなみ景観

市街地だけでなく市内のいたるところで、市民の協力によって、花壇の手入れによる美しいまちなみ景観が作られています。



道路脇の花壇

【市民アンケート結果】

◎「地域の花壇の手入れや植樹活動」に参加したことの市民の割合
17.4% (H28)

※まちなみ景観の象徴である花壇は市民の手入れや植栽活動によって維持されています。

【市民アンケート結果】

◎「庭やベランダで庭木や草花を育てたり、家庭菜園をしている」と答えた市民の割合
59.2% (H15) ↘ 36.8% (H28)

各家庭における園芸や菜園は地域の景観要素となっていますが、実施する市民の割合は減少しています。

◎「田畑など農地の減少(耕作放棄地や宅地化など)」に関心があると答えた市民の割合
4.1% (H15) ↗ 12.6% (H28)

耕作放棄地の増加は農村景観を損ねます。



緑のカーテン



耕作放棄地・遊休農地

【市民アンケート結果】

◎「狭い道路での歩行の危険性」に関心があると答えた市民の割合

12.4% (H15) ↗ 23.4% (H28)

道路における歩行者への安全性の確保を望む意見が増加しており、農村景観、歴史景観の保全とともに安全性の確保も求められます。

◎「まちや公園でのポイ捨てごみの状況」が「不満」「やや不満」と答えた市民の割合

56.4% (H28)

ごみのポイ捨ては景観に悪影響を与えますが、ポイ捨ての現状に不満を持つ市民の割合は50%を超えています。



北条地区の宿場町の歴史的まちなみ

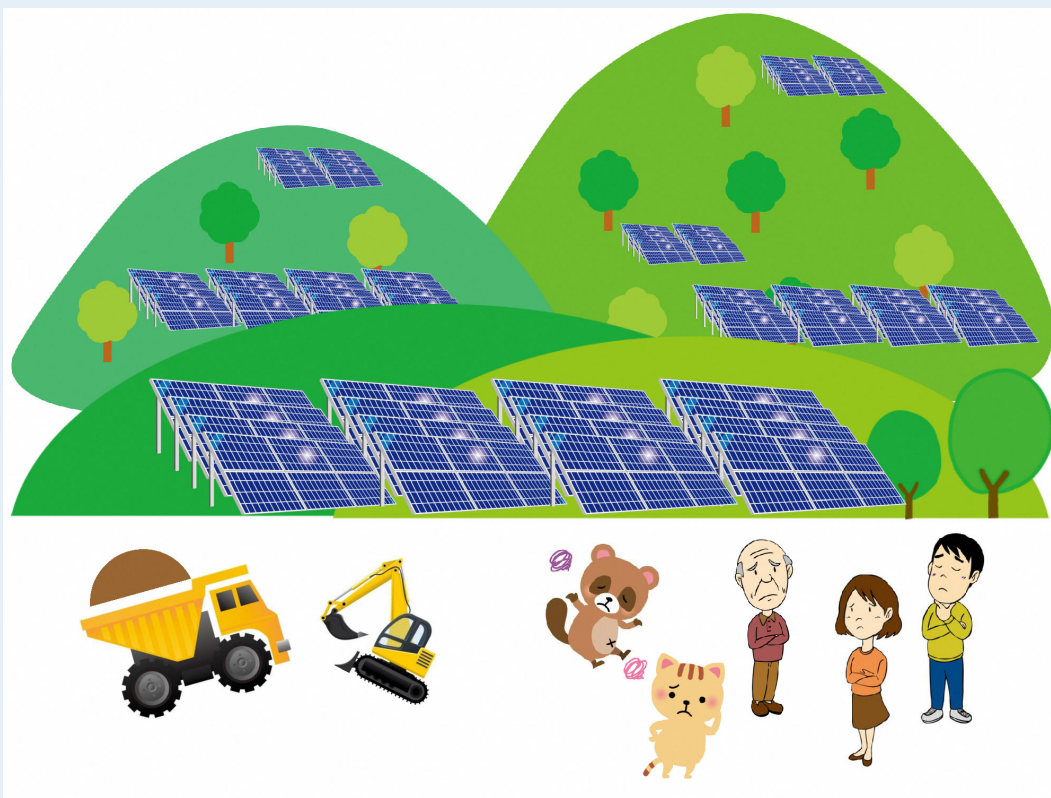


無くならないタバコのポイ捨て

【無秩序な太陽光発電設備の設置】

脱炭素社会の実現に向け、環境への負担が少ない再生可能エネルギーとして太陽光発電設備の設置が急速に進められています。

しかし、場所を選ばず、環境にも配慮しない無秩序な設置は、自然・農村景観やまちなみ景観に悪影響を与えるばかりか、自然を破壊し、住民の安心・安全を脅かす存在になります。



■ 今後の課題

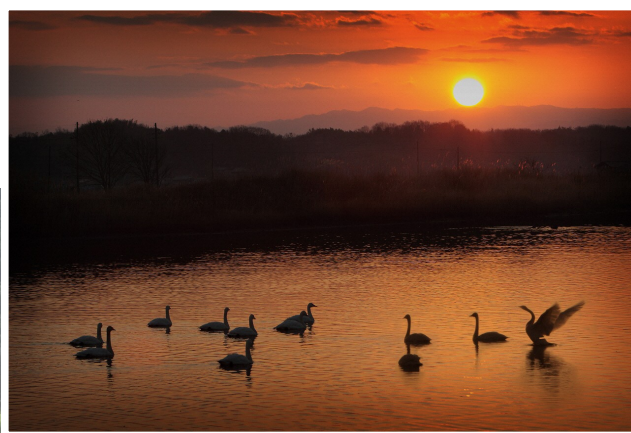
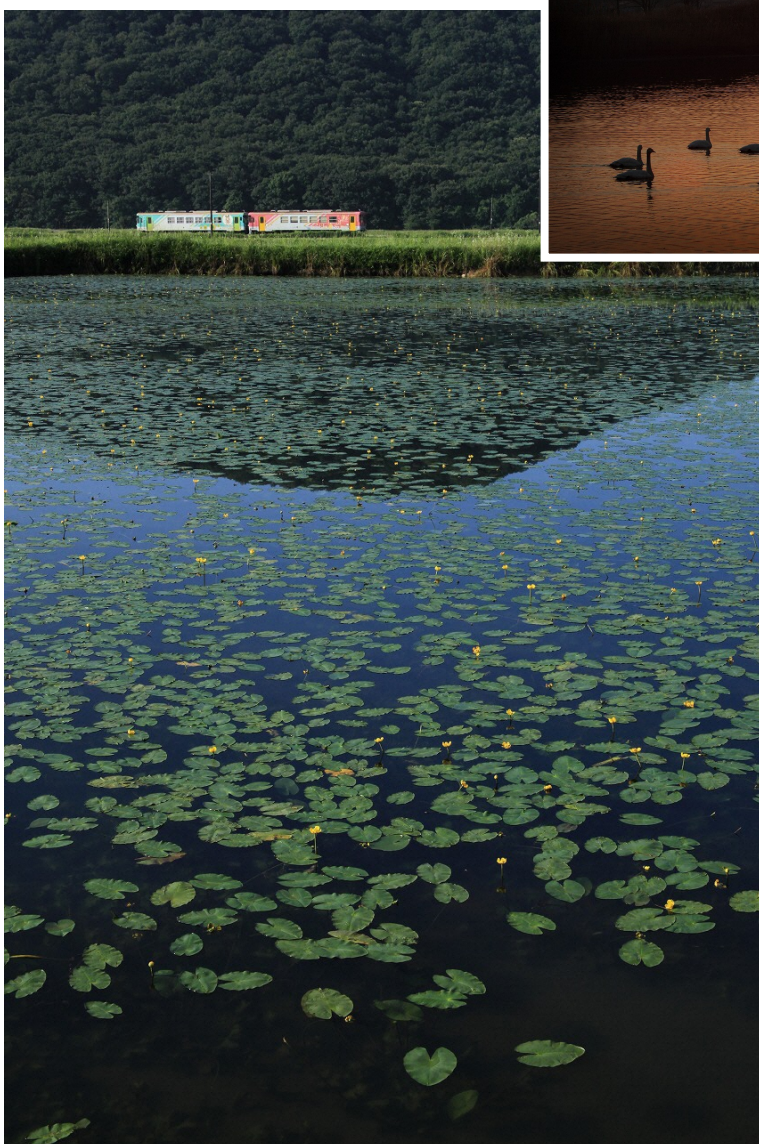
生活環境は、市民の日常に直接的に影響することから、引き続き観測・測定による監視が必要です。良好な生活環境が維持されるよう、騒音や悪臭の苦情・相談への対応強化、環境保全と防災の両立を図る新たな施策を進めていく必要があります。

また、播磨国風土記の時代より続く景観を守るために、空き家・空き地・耕作放棄地の増加や太陽光発電施設の無秩序な設置への対策とともに、ごみのポイ捨てを減らす施策が必要です。また、従来からの歴史的・文化的景観と自然・農村景観の保全には、安全確保と景観維持の両立という新たな観点が求められています。

(2) 自然環境

播磨国風土記が今に伝える豊かな自然は、普通種から希少種・絶滅危惧種まで多種多様な動植物を育み、加西独自の貴重な生物多様性を成立させています。しかしながら、増えすぎたシカによる食害、人の手が入らなくなって荒廃した里山、開発行為による自然喪失などにより、その貴重な生物多様性は確実に低下しつつあります。そして、市民アンケートの結果からは、加西市の自然が育んだ生物多様性は非常に貴重であることも、その自然が荒廃していることも、市民に十分浸透していない状況が明らかになっています。

「加西の自然」と一口に言っても、同じ加西に住んでいますが、住んでいる校区や世代間が異なることから、市民一人ひとりが思い浮かべる「加西の自然」には差があり、人それぞれです。自然環境の保全に当たっては、地域、世代に応じたアプローチが必要です。



長倉池のコハクチョウ

網引町上池・下池
サイゴクヒメコウホネ

●主な自然環境

湿原、ため池、河川、里山などのさまざまな自然環境が、気候や地質などの自然条件と、農業、森林伐採などの人間の営みにより形成されています。そこは生物多様性に恵まれており、多様な動植物が生息・生育しています。

・湿原

加西市は粘土質の段丘地形という、適度に水が溜まり滲み出す地質地形であることから、湿原が成立し易く、湿原性の貴重な動植物が多く生息・生育しています。加西市と加古川市と小野市の市境付近“あびき湿原”は特に生物多様性が豊かな環境で、加西市民の美しい環境をまもる条例に基づく野生生物保護地区に指定されています。地域住民による積極的な保全活動が実施されており、サギソウの群生やハッチョウトンボなどの貴重な動植物を木道から間近に観察できるため、市内外から多くの注目を集めるエリアとなっています。



あびき湿原



湿原の植物：サギソウ
湿原の昆虫：ハッチョウトンボ（右下）

・ため池

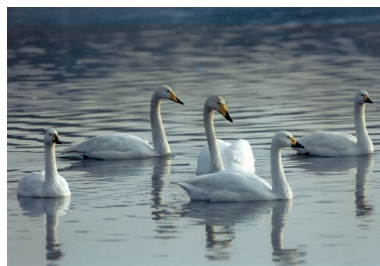
兵庫県ため池台帳に記載されている加西市のため池数は、小さいものを含めると1,000を超えるといわれています。そこには水生の動植物が生息・生育しています。ため池は堤体の草刈りや池干しなど、地域の手で保全されています。



ため池：琵琶甲町奥野池



ため池の植物：ガガブタ



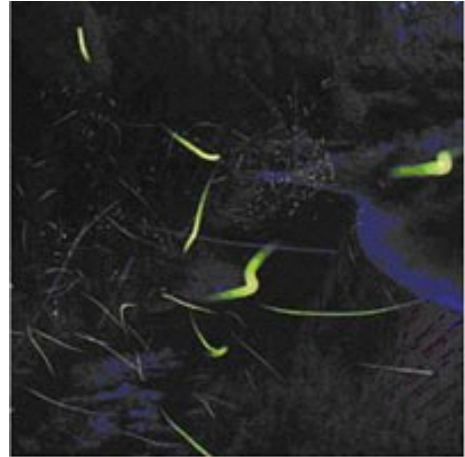
ため池の動物：コハクチョウ

・ 河川

加古川市方面に流れる加古川水系 37 河川、姫路市方面に流れる天川水系 1 河川の計 38 河川が流れています。総延長は 87.5km です。地域の手による清掃作業や草刈りによって良好な河川環境が保たれ、河川に生息・生育する多くの動植物が守られています。



河川(万願寺川)



水環境が良好な河川では
ゲンジボタルが見られます

・ 里山

人里周辺にはコナラなどの落葉樹からなる明るい里山が成立しており、陽の光を浴びて多様な動植物の生息・生育環境となっています。地域の自主的な里山整備に行政の支援が加わり、多くの地域で積極的な里山保全活動が行われています。特に、里山の希少動植物が見られる“周遍寺”と“糠塚山”は、加西市民の美しい環境をまもる条例に基づく野生生物保護地区に指定されています。



里山(コナラ林)



里山に生息生育する
ギフチョウとカタクリ(花)

■自然環境(生物多様性)の現状

豊かな自然に対する理解と積極的な保全活動が進む一方で、生物多様性という言葉と意味について、市民の認知度は全国平均値より低いことが市民アンケートの結果から分かりました。

また、子どもアンケートでは、ホタルを見たことがない小中学生が全体の20%近くにもなる結果となり、地域間、世代間で自然に対する認識に大きな差があることが分かりました。

農地においてはシカ、イノシシ、ヌートリアなどの有害獣による農作物被害が多くなっていますが、原因の一つに、昔は人里と動物たちの山との緩衝帯となっていた里山の荒廃が挙げられます。より一層の里山整備活動の広がりが求められます。

【市民アンケート結果】

◎「生物多様性」について「内容を知っている」と答えた市民の割合

加西市:10.3% (H28) ※全国平均値:16.7%

※H26年環境問題に関する世論調査より

◎「里山や水辺などの身近な自然が減っていること」に関心があると答えた市民の割合

3.6% (H15) ↗ 8.8% (H28)

◎「ホタルを見たことがない」と答えた子どもの割合 (子どもアンケート)

小学6年生:21.1% (H28) 中学3年生:17.1% (H28)

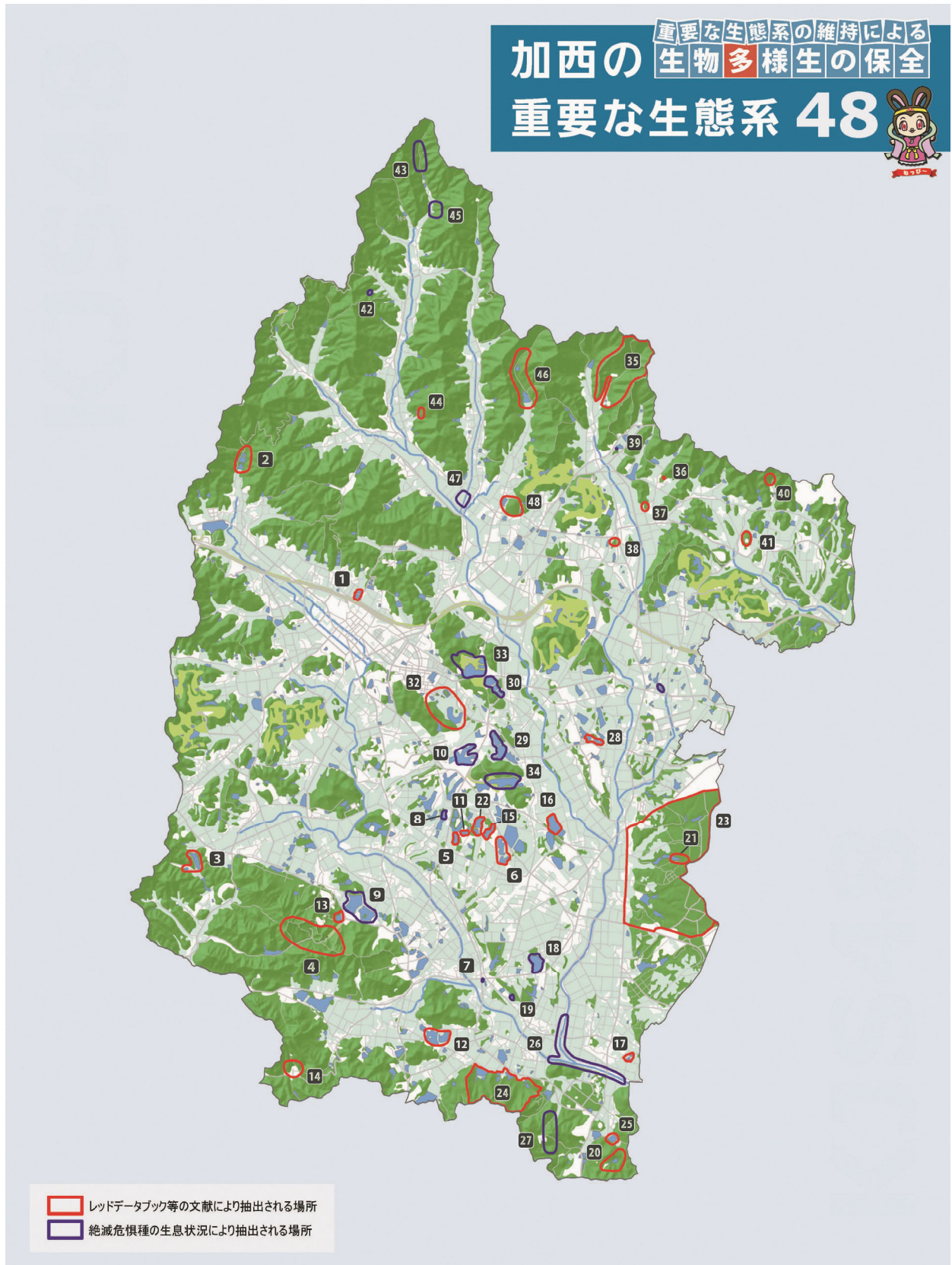
◎「里山の保全活動」に参加したことのある市民の割合

11.1% (H28)



兵庫森祭りの様子

【加西の重要な生態系マップ】



■加西の重要な生態系一覧表

名称	環境区分	※1 生態系の区分	保全制度・指定などの状況※2										
			兵庫県RDB 生態系RDB	RDB 植物群落RDB	RDB 自然景観RDB	特定植物群落	加西市史選定群落	絶滅危惧種の生息	保護地域制度				
								天然記念物	自然公園地域	自然環境保全地域	鳥獣保護区	野生生物保護地区	
1 北条町の合同池	ため池	小	B	B				●					
2 畑町の奥池	ため池	小	B	B									
3 西剣坂町のため池とその周辺	ため池・草地	小		B				●					
4 笠松山	樹林(針葉樹林)	小					●	●	●				
5 琵琶甲町の奥野池	ため池	小	B	C				●					
6 野条町の西新池	ため池	小	B	C				●					
7 東笠原町のため池	ため池	小	B					●					
8 中西北町の藤九郎池	ため池	小	B					●					
9 向月町の善坊池・戸田井町の皿池	ため池	小						●					
10 段下町の田水池	ため池	小	B					●			●		
11 琵琶甲町の東新池とその周辺	ため池・湿地	小	B	B				●					
12 倉谷町のアシガ池とその周辺	ため池・湿地	小		C				●					
13 向月町の新池とその周辺	ため池・湿地	小		C				●	●				
14 一乗寺	樹林(照葉樹林)	小		B	B	●	●	●	●		●		
15 鶯野町の下小谷池	ため池	小	B	C				●					
16 上宮木町の水正池	ため池	小	B	C				●					
17 網引町の上池・下池	ため池	小	B	C				●					
18 田原町の皿池	ため池	小	B					●					
19 田原町の花草池下池	ため池	小	B					●					
20 網引町のため池周辺	湿地	小	B	C				●	●			●	
21 繁昌町の翁谷奥池周辺	湿地	小	A				●	●					
22 琵琶甲町の参ノ池とその周辺	ため池・湿地	小	B	C			●	●					
23 青野ヶ原のため池群とその周辺	ため池・湿地	中	A				●	●					
24 田原町のため池群とその周辺	ため池・湿地	中	B					●	●				
25 網引町の新池とその周辺	ため池・湿地	小	B					●	●				
26 万願寺川	河川	小						●					
27 網引町の山林	樹林(里山林)	小						●	●				
28 常吉町の山谷池	ため池	小		C				●					
29 豊倉町の三田池・伝通池	ため池	小	B					●			●		
30 玉野町の新池・蓮池・中池	ため池	小	B					●			●		
31 別府町中町の小池上池	ため池	小						●					
32 玉野町の長倉池とその周辺	ため池・湿地	中	B	A			●	●			●		
33 玉野町の逆池とその周辺	ため池・湿地	小	B					●			●		
34 豊倉町の亀ノ池とその周辺	ため池・樹林	小	B					●			●		
35 普光寺	樹林(照葉樹林)	中		B	B	●	●	●	●		●		
36 妙見大明神	樹林(照葉樹林)	小					●						
37 新宮神社	樹林(照葉樹林)	小		C				●					
38 日吉神社	樹林(照葉樹林)	小		C				●					
39 河内町の山林岩場	樹林(里山林)	小						●					
40 奥山寺	樹林(照葉樹林)	小		C				●	●				
41 八王子神社	樹林(照葉樹林)	小		C				●					
42 下方願寺町の定本池	ため池	小	B					●					
43 万願寺川(源流域)	河川	小						●					
44 磯崎八幡宮	樹林(照葉樹林)	小		C				●					
45 上方願寺町山林	樹林(里山林)	小						●					
46 佐谷町の奥池	ため池	小	B					●					
47 広原町の水田とその周辺	水田・河川	小						●					
48 石部神社周辺	樹林(里山林)	小		C				●					
			27	23	2	2	12	46	1	8	1	7	1

※1: ため池、湿地、水田、草地、樹林など、視覚的に容易に区別できる環境を「小生態系」とし、いくつかの小生態系が集まる比較的大きな生態系を「中生態系」とした。

※2: 重要な生態系の保全制度・指定の状況を表す。

● 兵庫県RDB

- 生態系RDB 『兵庫の貴重な自然-兵庫県版レッドデータブック 2011(生態系)-』(兵庫県,2011)
- 植物群落RDB 『兵庫の貴重な自然-兵庫県版レッドデータブック 2010(植物群落)-』(兵庫県,2010)
- 自然景観RDB 『兵庫の貴重な自然-兵庫県版レッドデータブック 2011(自然景観)-』(兵庫県,2011)

● 特定植物群落 『日本の重要な植物群落』(環境庁,1980)

● 加西市史選定群落 『加西市史 第三巻 本編 3 自然』(加西市,2002)

● 絶滅危惧種の生息 (下記文献に掲載される種を絶滅危惧種としました。)

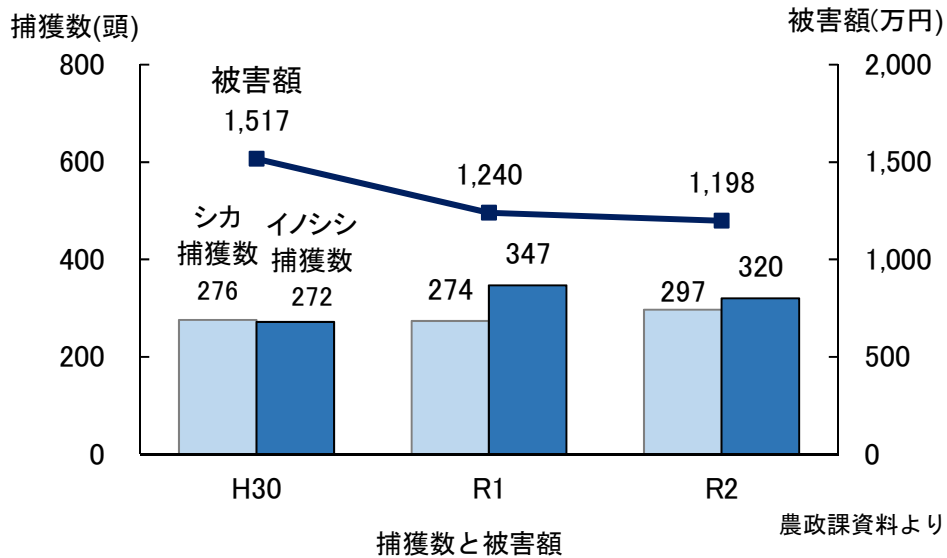
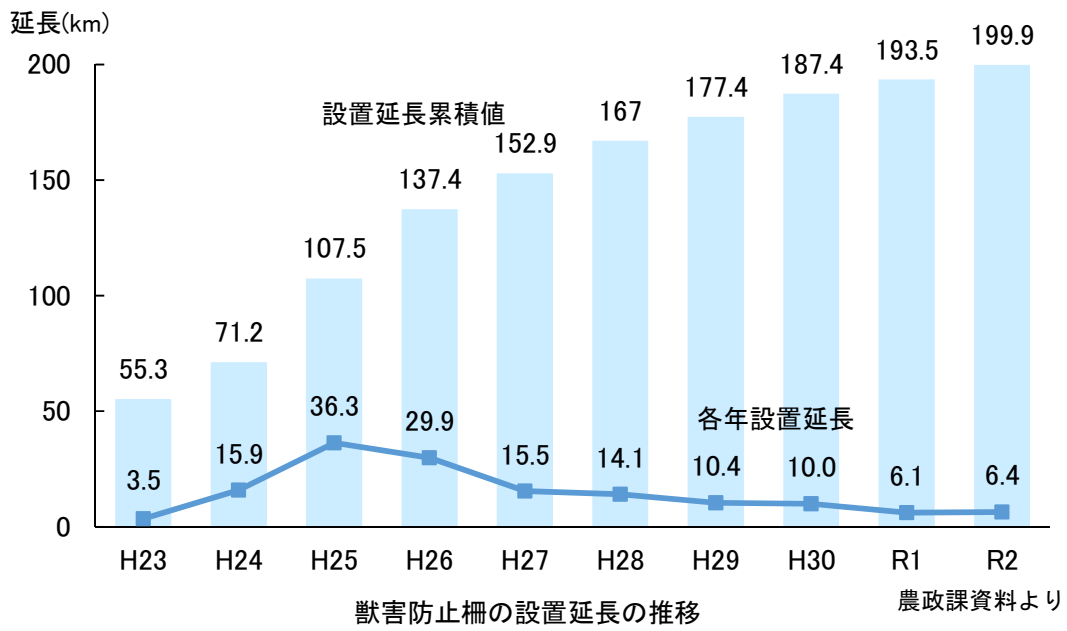
- 国内希少野生動物植物種 『絶滅のおそれのある野生動物植物の種の保存に関する法律』(法律第75号,1992)
- 国R 『環境省動物・植物レッドリスト』(環境省,2007)
- 近畿RDB 『改訂・近畿地方の保護上重要な植物』(レッドデータブック近畿研究会,2001) 『近畿地区・鳥類レッドデータブック』(山岸哲,2002)

- 県RDB 『兵庫の貴重な自然-兵庫県版レッドデータブック 2010(植物)-』(兵庫県,2010) 『改訂・兵庫の貴重な自然-兵庫県版レッドデータブック(動物)-』(兵庫県,2003)

● 保護地域制度

- 天然記念物 『文化財の保護に関する条例』(条例第73号,1967)
- 自然公園地域 『兵庫県立自然公園条例』(条例第80号,1963)
- 自然環境保全地域 『自然保護条例』(条例第52号,1971)
- 鳥獣保護区 『鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律』(法律第88号,2002)
- 野生生物保護地区 『加西市民の美しい環境をまもる条例』(条例第16号,2004)

【獣害対策】



イノシシ



シカ



シカの食害を受けた稲



イノシシに荒らされた水田

■ 今後の課題

今後は、あびき湿原など特に優れた自然環境における保全を継続していくとともに、より多くの市民に身近にある加西の自然の素晴らしさを再認識してもらい、加西の自然を守る担い手の掘り起こしを進め、活動の裾野を広げていくことが必要です。

有害獣対策については、人間との共生を基本として対策を継続していかなければなりません。